

令和7年度第1回宝塚市立図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和7年（2025年）7月25日（金）
14時05分から16時10分まで
- 2 開催場所 宝塚市立中央図書館研修室
- 3 出席委員 上野委員長（議長）、樋口委員、中本委員、林委員、藤井委員、真鍋委員
- 4 欠席委員 今北委員、政井委員、中西委員
- 5 事務局
 - (1) 中央図書館（中央） 藤野館長（司会）、近藤係長、藏野係長、小倉、西川
 - (2) 西図書館（西） 加藤館長、大島係長
- 6 協議事項
 - (1) 令和6年度事業報告について
 - (2) 令和7年度事業について
 - (3) 意見交換等
 - (4) 次回の開催について
- 7 議事内容

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言 ・委員の委嘱辞令交付 ・委員の自己紹介 ・会議が成立することの報告 ・委員長選出（委員長に上野委員を選出） ・事務局職員の自己紹介
司会	<p>1 令和6年度事業報告について</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>議事1、令和6年度事業報告についてを議題といたします。</p> <p>では、事務局からご説明よろしくお願いたします。</p> <p>令和6年度、昨年度の主な事業の報告をこれからさせていただきますが、最初に説明させていただきたいことは、私どもの図書館は、本と出会う場所として、皆さん方がどういうふうにしたら、どういうふうに本を見せたら、本とできるだけ出会ってくれるかという演出をするみたいな仕事だと思ってまして、それを考えていつも職員は、会計年度任用職員もたくさんいますけど、みんなそういう思いで仕事をしております。</p> <p>そういうことがうまくいって、たくさん出会いが生まれているんじゃないかなと思いつつながら、働いているという状況にあります。</p> <p>これから、いろいろな事業を説明しますが、一番大切なことは、その図書館で本と出会っていただくということが大切だと思った上でやっていますが、最近の図書館は、イベントなどを通じて、新しい自分を発見するみたいなことをしてもらおう場所とか、人と人が出会う場所みたいなことも目指しているところでして、また、それに加え</p>

て、居場所としての図書館というか、場としての図書館というのも、すごい意味があるなというふうに感じておりました、そういう単純なことと言えば、この夏のクールスポットとしての図書館という意味合いもあるとも思っております。

図書館というのは、他のいろんな施設に比べて、すごく入りやすいし、その場所でたただずんでいてもいいという場所だというふうにいつも思っております、そこにたただずんでいても、別に誰に声かけられるわけでもないというふうに感じている場所という意味でも、図書館の意味合いがあるなって、常々このことを感じております。

それに加えて、市民の生活に役立つというか、寄り添えるようなこともできたらいいなと思っております、市役所のいろんな課の人と連携して、いろんな情報提供をするようなイベントのようなものも、後から紹介すると思えますけど、そういうのをやっていきたいなと思っております。

そういう集いとか交流の場っていうような言い方をしてますけど、そういうような場所になりたいなと思ってやっております、そのことをおわかりいただいて、後からいろんな事業の説明がたくさん出てきますけど、一番目指しているのは本との出会いですが、そこに加えているいろんなことを図書館としては、市民の方に役立ってもらうために、そういうふうを目指していたことの説明をすると思えますので、よろしくお願ひします。

そういうことを前振りで言わせていただきまして、資料がすごくたくさんありますが、この沿革って書いてあるところを見ていただいて、1980年だと思いますが、図書館ができて、この図書館、いろいろ沿革書いてありますが、その時に移動図書館もほぼ同時にできておりました、そこから移動図書館が回っている点ですけど、そこから施設としては中山台分室ができ、小林に西図書館ができ、その後また分室ができて、今は中央図書館、西図書館と分室3分室と移動図書館が25箇所回っている状態で先ほど言いました本を届けるっていう目標に向かっております。

その間にいろんなことが起こってきてましたし、コンピューターとかだけ見てもいろんなことが変わりました、最初の頃は全然、本当に貸出しとかを数字が印刷されるような、本当に大きなコンピューターの時代だったと思えますし、移動図書館に持って行くのも、こんなカバンの大きなみたいなやつを持っていくような時代でした。

今はもうノートパソコンを移動図書館でも持って行って、Wi-Fi的なもので、普通に図書館と同じようにできるような状況に変わってきましたし、予約を簡単にスマホとか、現在はスマホでテレビで本が紹介されたときに、すぐに検索して、そこで予約みたいなこともできるような時代だし、私どももそれをやって、できるだけ便利にす

事務局（中央）	<p>ることによって、本との出会いができるようになってきたなと思っております。</p> <p>でも、スマホを皆さん方が持つようになりまして、そこに利用券を表示してピッと読んでもらうとか、そのようなこともできるようになってきております。</p> <p>どんどん便利になっているのは間違いないんですが、本の中身との出会いというのは昔と変わらないものと思っていますので、便利にばかりじゃないものが図書館にあるんだろうと個人的には思いますけど、沿革というのは大雑把に言えばそのようなことなんです。</p> <p>次に引き継いで、中央図書館の説明をお願いします。</p> <p>司会の方からも事業報告をナンバー1で言いましたけど、次にナンバー2、これは実は図書館の活動というのが1年に一回、年報という形で、統計とかいろんな事業報告とかをまとめてホームページに公開しています。</p> <p>今年度はまだ作成途中です。</p> <p>というのが、阪神7市1町の図書館が、宝塚市でも利用できるようになっていたため、阪神7市1町のデータの収集が終わりましたら、だいたい秋ごろにいつも公開しております。</p> <p>年報からピックアップした統計報告ですので、各見出しでいろんな数字があります。</p> <p>早速4番蔵書数から、これは年報の今作成途中の数字ですのでご了承ください。</p> <p>最初のナンバー2ですが、いろいろ数字がありますが、ざっと言いますと69万冊ぐらい、こちら全館で所蔵しています。</p> <p>一般書がだいたいそのうち7割、児童書が3割ぐらい、例年変わらずこのような形で推移しています。</p> <p>次、ナンバー3の方をご覧ください。</p> <p>これが蔵書冊数の推移ですけど、だいたい68万から69万冊前後がこちらの図書館の、宝塚市の全体の図書館の蔵書冊数の目安です。</p> <p>だいたい毎年全館で2万冊前後購入、受入れをして、2万冊前後をリサイクル図書として廃棄とか、新鮮な図書の入れ替えという作業もやって、年によってばらつきがありますが、このような数字になっています。</p> <p>いろんな蔵書がありますが、(4)番の聖光文庫というのが聞き慣れない方もいらっしゃるかも知れないですが、中央図書館の、今日ご覧いただくかわからない聖光文庫という部屋は、清荒神の鉄斎美術館から寄贈を受けた美術関係の図書とか、複製の資料とかを所蔵して、すべて寄附でございます。</p>
---------	--

	<p>その資料の冊数を書いておきます。</p> <p>次、ナンバー4の資料をご覧ください。</p> <p>利用者の登録という形で、当市の図書館では3年間に貸出しのあった登録者数を実登録者数としています。</p> <p>約46,000人です。</p> <p>ただ、この実登録者数というのは、全国的に何か決まりがあるわけではなくて、図書館によってはコンピューターで利用券登録数を累積して、半分冗談のような人口より多いとかいうのがあり、決まりはないですが、こちらは実登録数約46,000人で、登録率が20%ぐらいです。大体同じような数字を推移しています。</p> <p>あと、年代別でいきますと、数字の年代がありますが、大体1年間で利用があった分は幼児から10代までは20%ぐらいですね。</p> <p>60代以上が33%ぐらいという形です。</p> <p>40代が一番多いです。</p> <p>これは毎年変わらない数字です。</p> <p>40代の方は、もちろん親御さんが子どもさんの本を借りているというのもあると思いますので、ですから、この利用券を作っている方が全て、例えば児童サービスになると、児童書しか借りてないわけではないとは思いますが。</p> <p>次にナンバー5をご覧ください。</p> <p>各図書館の貸出数ということになっております。</p> <p>ご説明します。</p> <p>下段の方にサービスポイント、これは中央公民館で予約の方だけ、貸出しをしております。</p> <p>次のWEBというのは、図書館インターネット上で一回延長が、貸出延長が一回2週間できます。</p> <p>インターネットで延長した数がWEBという形でなっております。</p> <p>あとは有料郵送貸出、育児介護による無料郵送貸出というのがありますが、令和6年度が育児介護のサポートは、非常に伸びています。</p> <p>前年度94件から246件、貸出冊数は590件が1,556件、これはですね、ウェブで育児介護の申請ができるようになったためだと思います。</p> <p>1歳未満の子どもさんを養育されている方は無料で、郵送のサービスを1か月に1回本を郵送でできるようになります。</p> <p>申請がウェブでできるようになったのは非常に大きく、申請が、今まで来館か郵送だけでしたが、ウェブ申請の影響があって非常に増えています。</p> <p>次、ナンバー6、次のページをご覧ください。</p> <p>このページは、年度ごとの貸出冊数とか貸出人数の推移を表記</p>
--	---

	<p>しています。</p> <p>コロナ後やはり減少傾向にございます。</p> <p>この貸出冊数とか貸出人数の合計というのは、ここ数年ですね、コロナによる休館、あと西図書館の空調の令和3、4年度とか空調の休館とか、令和3年度の中央図書館も休館時期があつて、総数ではなかなか比較できないので、いつも私が見ているのはキの一日平均貸出人数の推移を追っています。</p> <p>やはりコロナの影響もあつたのか、それと全体的な図書館利用と読書離れという傾向があるのか、年々減少傾向にあります、5年度、6年度になると若干見えてくるようになりまして、だいたい1%から2%減つていまして、調べてみましたが、やはり全国的にも図書館は1%、1.5%、2%減となつていまして大体同じような感じになっています。</p> <p>もちろん人口減少とかいろんな要因も考えられます。</p> <p>ただ、ここには出ていませんが、実は毎年図書館年鑑、図書館のいろんな統計で貸出総数は、人口20から30万人の47市区ありますが、常にこの宝塚市は、だいたい10位以内に、9位とか8位とかのところにいる。</p> <p>いつも上位にランクしていまして、関西では人口でいきますと茨木市に次いで2番目に多い、利用の多い図書館となっています。</p> <p>これを励みに、頑張っているところでございます。</p> <p>次、ナンバー7をご覧ください。</p> <p>来館者数ですが、貸出しも減つていますが、中央図書館は約32万が約31万1,000にちょっと減つていますが、中央図書館は今年の1月から4月まで空調工事で館内の暖房が効かない時期がありましたので、その時は本当に利用者さんがあまり来られなくなり、ちょっと影響しているとか、逆に西図書館が増えています。</p> <p>ですから、来館する方は減っているという現象というより、中央図書館はまだわからないんですが、居場所として若干増加傾向にあるのではないかというふうに、というふうに捉えています。</p> <p>次の8番の本の予約ですが、これも覧いただいたとおりインターネットのパソコンとかスマートフォンで、大体予約の全体の86%と、去年も同じぐらいの数字です。</p> <p>インターネットの利用が多いです。</p> <p>ただ、窓口も5万人ですが、かなり多いですが、全体に占めるパーセンテージは少ないです。</p> <p>窓口でも必ず利用者さんと対面して、いろいろな本の検索とか調査したりして、リクエストを受けたり、この数字も別に減っているわけでは、総数では減っているわけではないです。</p> <p>次の10番、相互協力というのは、県立図書館とか阪神7市1町</p>
--	--

<p>事務局（中央）</p>	<p>は、メール便を使って無料で本を取り寄せて貸し出しています。</p> <p>絶版などの本を貸し出して、そういうサービスを行っている数字です。</p> <p>次、ナンバー8は、障害者サービスということで、こちらのサービスも行っています。</p> <p>こちらも年度当たりですが、大体1,500件から1,700件ぐらいの貸出量という形で、それほど減少というわけではなく、大体横ばいで推移していると思っています。</p> <p>統計や数字の量が多いですので、かなり走りまして、わかりにくく、ご説明不足があったら申し訳ございません。</p> <p>次は、行事報告を、代わらせていただきます。</p> <p>中央図書館から行事報告させていただきます。</p> <p>まず手元にチラシがあると思いますが、令和6年の断捨離っていう、この中央図書館の方から説明させていただきます。</p> <p>細かい数字とか何人参加とかは先ほどの細かい資料の方に載ってますけども、チラシを集めております。</p> <p>先ほど、認知症サポーターの養成講座に参加いただいたというお話があったように、認知症サポーターの養成講座、今度8月には夏休みにキッズサポーターを毎年やっております。</p> <p>認知症のことを知るという講座で、私もこの前参加しましたが、いろんな方がいらっちゃって、そこで話をすることが、すごくいい時間なのかなというのを感じましたし、キッズの場合の子どもさんにもわかりやすく認知症っていうのはこういうことだよっていうのは、例えばおじいちゃんとかおばあちゃんがそういう時にはサポートができるようになってことを、すごく簡単にわかりやすい形で説明してもらえる講座なので、まだ募集してないと思いますが、毎年定員に達することもないので、是非よかったら皆さんに行っていただきたいと思います。</p> <p>大人向けの講座もよくしますけれども、ほかにも本と関わらないのになんてと思うこともあるけど、「インドの細密画と宮廷音楽」とか、集会室の方で、そういうインド音楽を聞きながらインドの細密画のことを大学の人に説明してもらおうとか、図書館とはちょっと違うかなと思うような講座も、実はいろいろやっています。</p> <p>西図書館の方でも、また後で説明しますが、そういう音楽に絡んだこともやったりしています。</p> <p>その時には、必ず図書館の音楽に関する本とか、インドに関する本とか、必ずこういう何かつなげられるような本を展示するようにして、そこで聞いて終わるんじゃなくて、そこから本につなげようということはいつもしておりますので、双方向で興味を持ってもらえたらいいなっていう形のことやっております。</p>
----------------	--

事務局（西）

西図書館の行事について、ご紹介させていただきます。

こちらの表紙が「はじめての断捨離」で、ホッチキス止めされているものの中の5枚目、こちらのビブリオバトルの方からご説明させていただきます。

ビブリオバトルは、毎年、公民館のホールで開催しております、後からご紹介しますが、子どもの読書活動推進計画の中でも力を入れて取り組んでいる行事になります。

昨年度の11月23日に開催し、その時は小学生6名、中学生3名が発表しました。

発表者も含めて参加者は64名で、中でも里見八犬伝を紹介してくれた発表者が、玉の字を書いたうちわを用意して、発表に工夫をしてくれていたりですとか、あと紫の衣装を着て、源氏物語を紹介してくれた発表者もいて、皆さん工夫をしながら発表してくれました。

次に、先ほどもご紹介させていただいたんですが、「インドのえほんとふしぎな楽器シタールとタブラえんそうかい」というものを今年の9月1日に開催しました。

この9月1日というのは、毎月1日は西図書館の休館日になるんですけども、その休館日に図書館を開けて、事前にお申し込みいただいた方を休館している館内に入れて、そこでインドの楽器の演奏会をしながら、インドの絵本を読み聞かせするというイベントです。

こちらは、参加者が子ども26名、大人22名にご参加いただきました。

閉館中の図書館内で演奏会をしたということで、インド楽器の独特な音色の中、いつもと違った雰囲気図書館を楽しんでいただけたと思います。

演奏会後の楽器体験会ですとか、図書館ツアーも好評でした。

次に、「ぬいぐるみのおとまり会」なんですけども、こちらも毎年開催しておりますご好評いただいております。

昨年も12月14日に開催しまして、子ども60名が参加してくれました。

このお泊まり会というのは、子どもたちがお気に入りのぬいぐるみと一緒に夜のお話会に参加しまして、ぬいぐるみはそのまま図書館に泊まって夜の図書館内を探検します。

その探検している写真とその探検の中でぬいぐるみが気に入った本を翌日持ち主にお渡しするという取組です。

60名参加されたので、4部に分けてお話し会を実施しました。

次に、「もりといずみさんがおしえるミニ『パンどうぞ』ワークショップ」なんですけども、こちらも子どもの読書活動推進計画の取組として毎年児童書に関係のある講師の方をお呼びしまして、講演会を行っていますが、去年は絵本作家で「パンどうぞ」などでおなじみのも

<p>司会</p>	<p>りといずみさんをお呼びして、講演会ではなくワークショップという形を取りました。</p> <p>この「パンどうぞ」は木版画で作られた絵本ですが、同じような木版画を子どもたちに作ってもらって、同じオリジナルの版画の絵本を作るというワークショップを開催しました。</p> <p>こちらは20名の方に参加していただきましたが、大人気だったので、応募自体は3倍以上の64名の方の応募がありました。</p> <p>次に、こちらのFM802、DJの浅井博章さんによるブックトーク、「今日はEVENING STORYを」を今年の1月25日に開催いたしました。</p> <p>ご参加いただいた方もいらっしゃるかと思うんですけども、FM802でいつもモーニングストーリーというコーナーで本をご紹介してくださっているDJの浅井博章さんをお呼びして、前半は宝塚市の図書館に所蔵していて、浅井さんがお勧めの本というのを10冊ご紹介いただき、その後いつもモーニングストーリーがどのように作られているかという舞台裏をお話いただきました。</p> <p>こちらは大変好評で、120名の定員だったのが、2倍以上の279名の方が、市内からも市外からもご応募がありました。</p> <p>西図書館の行事のご紹介は以上になります。</p> <p>図書館の事業として行っているのですが、普通の図書館と違う事業を説明します。</p> <p>旧松本邸といわれる文化財ですが、国の有形登録文化財なのですが、この中にはご見学に行っていた方が半数いらっしゃいますが、ご存知ない方に知っていただきたいという意味で、この旧松本邸の管理を中央図書館がしております、春と秋に一般公開しているのですが、1週間ずつですが、そういうことも図書館の事業として行っており、実はこの管理自体をしていますので、木の選定とかいろんなことをするものまで図書館の事業として行っており、結構大変です。</p> <p>予算をつけてもらっているのですが、そういうことも図書館でやってるということをこの機会にお知りおきいただけたらなと思っております。</p> <p>そうですね、資料はないのですが、先ほどの市史資料室を見学いただいたらというふうに初めに申したのですが、市史っていうのは、宝塚市の歴史という意味の市の歴史の市史と書くのですが、その資料室ということで、江戸時代の古文書とか、大正時代とか、明治の終わりぐらいから昭和頃は絵はがきがたくさん流通していた時期があるのですが、その頃の宝塚の古い宝塚駅であったり、歌劇のものだったり、川が写っていたり、今では考えられませんが武庫川で海水浴をしたり、そのような資料がいろいろたくさんあるのですが、宝塚市で</p>
-----------	--

事務局（中央）	<p>そういう資料を管理とか保存して、それを整理して公開しているのはここしかないのです。</p> <p>この図書館内にある市史資料室がそれをしております。</p> <p>そういう事業もしてますので、そこを紹介しておいて、後でお時間がありましたらそこで見ていただいたらなと思っています。</p> <p>その職員に学芸員もいるので、見てもらったらと思っております。</p> <p>その市史資料室にある資料を一般公開するために、インターネットで公開しています、全部じゃないですが。</p> <p>ごく一部ですが、宝塚市史という市の歴史の発刊後になっている、だいぶん以前に発行した歴史の本があるのですが、そのうちの3巻ですが、それを全部公開していて、そういう検索もできるようにしているのがありますが、それを宝塚デジタルミュージアムという名前で公開しております。</p> <p>世界中のどなたでも、どこでも見れるのですが、その公開を維持運営しておるのも図書館が行っておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>あと、令和6年度の決算を言っていただくようお願いします。</p> <p>お手元の資料のナンバー13で、こういうなんかエクセルの表みたいなものがあると思います。</p> <p>この令和6年度決算額をもとに、簡単に説明させていただきます。</p> <p>令和6年度の中央図書館管理運営事業の決算額の総額がこの右上の89,414,157円、ちなみに令和5年度の決算額は、84,014,000円ちょっとでしたので、500万ほど差があります。</p> <p>500万ほど増えたのは、図書館の図書館システムというリース契約は、令和5年度まで再リースという形で、ちょっと安いリース料をやったのが、更新で新システムの更新料になった、その分がちょっと増えたっていう感じで、ちょっと増えています。</p> <p>おおむね同じような枠内の予算で、ずっとその総額の金額については移行している部分でございます。</p> <p>上から順番に、簡単に説明していきますと、1番の報酬というのは皆さん方図書館協議会委員の報酬でございます。</p> <p>次の7報償費、講師謝礼という部分が、イベントとかでお願いした講師の謝礼でございます、1人一回当たり5,000円とか、あるいは20,000円ぐらいのあたりの金額をお支払いしています。</p> <p>特別な場合は50,000円とかありますけど、おおむね5,000円から20,000円ぐらいです。</p> <p>続いて旅費が普通の職員の旅費でございます。</p> <p>消耗品につきましては、7,968,000円ほど、閲覧用の雑誌代が1,128,000円ほど、それから新聞代が690,000円</p>
---------	---

ほど、その他消耗品図書は935,000円ぐらいかかっております。

それ以外に図書データと言って、図書館システムの中で、図書館のデータ、デジタルデータの的なもの、書誌データっていうんですけども、その購入費用がだいたい年間2,133,000円ほどかかっております。

マーク代については、その図書データについては、毎年同じぐらいの金額をお支払いしております。

燃料費は軽自動車の公用車のガソリン代です。

移動図書館車のガソリン代は委託料の中に含まれておりますので、ここでの燃料費は公用車のガソリン代のみ、それから印刷製本費はイベントとかで作るチラシやポスター、それから雑誌などを1年間まとめて製本する費用が入っております。

令和6年度は図書館名義の角2の四角い封筒を館名入りの封筒を500枚作りましたので、その費用もこの中に入っております。

光熱水費は11,400,000円ほど、これは前年とほぼ横ばいでございますけれども、近年戦争とかの影響で非常に高熱水費については厳しい状況が続いております。

施設修繕料はトイレの修繕とか空調機の修繕、令和6年度は避難誘導灯のLED化をだいぶ進めましたので、その分の修繕料がこの中にだいぶ入っております。

避難誘導灯のLED化は令和6年度ですべて完了して、館内の避難誘導灯のLED化が終わっていて、普通一般の蛍光灯の類についてはこれはですね、すべてリース契約、10年間のリース契約で全館LED化が終わっております。

委託料については、清掃、警備、設備管理全般の建物総合管理業務、この費用が大きい部分でございます、あと図書館ならではの業務としまして、移動図書館車の運行管理業務、図書運搬業務、水曜日を除く毎日施設間を運んでいる図書、これが図書運搬業務でございますね。

それから中山台分室の窓口業務の委託があります。

使用料、賃借料のうち、ほとんどは図書館システムのリース料でございます。

その他はコピー機のリース代などです。

備品購入費は図書館の根幹である図書購入費で、昨年度と同額でございます。

それから、表の中段に細長く建物保全という部分がございます。

これは大きな8,400万、8,900万という大きな枠みたいな予算と別に、施設の修繕、大きな修繕とかは、この枠とは別のところに予算を査定するための枠がございまして、ここで、ある一定の金額

事務局（西）	<p>をまた別の施設マネジメント課という別の課が中心に見てもらっている予算でございまして、この令和6年度は779,000円、これはたまたまこの回の決算額について、ちょっと低い金額で、近年は大きな修繕が続いておりますので、例えば令和7年度、今年度ですけれども、すでに空調機の修繕が完了した年でございますので、その分だけでも5,700万円をもう支払い済みでございますので、これについては建物保全の部分については、その年の大きな修繕があるかないかで大きな変動がある費目でございます。</p> <p>以上、中央図書館の決算額について説明申し上げます。</p> <p>以上です。</p> <p>それでは、引き続き西図書館の令和6年度の決算、歳出についてのご説明をさせていただきます。</p> <p>資料は同じくナンバー13の下の方になりますけれども、1件少し訂正をさせていただきたいのが、西図書館の管理運営事業と1本になってるんですけど、ここも中央図書館と同じく建物保全と2つの事業に分かれておりまして、12委託料っていうのが、上から5番目に12委託料というのが2,046,000円あるんですけども、これが実は建物保全ということで別事業になりますので、一旦外に出していただきたく思います。</p> <p>したがって一番上の総額、事業費なんですけれども、39,979,127円となっておりますけれども、正式には37,933,127円になります。</p> <p>はい、すみません。</p> <p>ご訂正の方をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでもって改めてご説明をさせていただきます。</p> <p>西図書館管理運営事業といたしまして支出済額、今申し上げました通り37,933,127円、前年度比4,118,392円、12.2%の増となっております。</p> <p>内訳について主なものとして、まず、7報償費ですけれども、子どもの読書活動推進計画関連事業、あと昨年、宝塚市は市制70周年、宝塚歌劇110周年、手塚治虫記念館30周年と、トリプル周年ということで、いろんな記念事業を行っていたわけですが、実のところ西図書館についても先ほど司会からもご紹介ありましたとおり、平成6年開館ということで1994年開館、昨年でちょうど30周年を迎えましたので、それでもって西図書館開館30周年記念事業を行いました。</p> <p>それと、あとストーリーテリングボランティアの養成講座等の講師等謝礼としていたしまして、493,420円となっております。</p> <p>次、その下の10需要費ですけれども、9,984,478円となっております。</p>
--------	---

そのうち消耗品費ですけれども、雑誌や新聞、その他事業や図書館運営に必要な消耗品などを購入いたしましたもので、3,436,263円となっております。

その下の光熱水費ですけれども、もちろん電気料金、ガス料金、水道料金及び下水道使用料になっておりまして、合わせて5,586,804円となっております。

電気料金につきましては、西図書館では平成31年度、令和元年度から、経費節減を目的に電気事業者との契約を関西電力からミツウロコクリーンエネルギーというところに変更しております。

これでもって、関西電力から直接電気を買うよりもいくらか安くはなっておるんですけれども、電気料金については引き続き、上昇傾向に今あるということになっています。

次に、その下13使用料及び賃借料ですけれど、こちらについては12,096,202円となっております。

そのうち西図書館共益費というのが、ここに細かい内訳は省略させていただいているんですけれども、その大部分が西図書館共益費となっております、これが10,914,976円となっています。

西図書館は隣にあります市立西公民館との複合施設、ご存知かもしれませんが複合施設となっております。

1つの建物の中に西公民館と西図書館の2つの施設があるということになっております。

施設の管理につきましては西公民館と一体的に行っております。

西公民館は市の直営ということではなく、指定管理者制度を導入しております、その指定管理者であるアクティオが施設管理を行っております。

その経費を共益費として市からアクティオに支払うもので、この中には建物総合管理業務でありますとか、清掃業務、冷暖房空調機器保守点検業務、エレベーター保守点検業務等が含まれています。

その額が全部で10,914,976円というふうになっております。

また、西図書館では、令和3年度に全館LED照明工事を実施しております、LED照明器具借上料が660,000円となっております。

その下です、備品購入費ですけれども、14,566,936円となっております、そのうち図書購入費につきましては約9,000冊の本を購入いたしまして、13,368,486円となっています。

それでもって先ほど最初に申し上げましたように12委託料につきましては、別事業ということで、西図書館管理運営事業建物保全ということで、これにつきましては12委託料ということで、本年度に老朽化の激しいエレベーターの更新工事を実施する予定にしております。

議長	<p>まして、そのためのエレベーター更新工事設計委託料といたしまして、2,046,000円を支出しております。</p> <p>西図書館の決算につきましては、以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>丁寧なご説明を頂きましたけれど、ここで皆さんの方からご質問やご意見がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>どなたからでも結構です。</p> <p>今、こんなことを言うのもあれなんですけど、山本南の蔵書の内訳というか、びっくりしたのが、いわゆる一般のところ、文学が443と他分室に比べて少ないわけですね。</p> <p>ただ、今言ったら貸出冊数自身は一般と子どものどちらかと言えどどちらもそこの数字ということですね。</p> <p>そやけど、やっぱり動くのはいわゆる文学だと思っんですよ。</p> <p>ほんでえっと、そいつはやっぱり物はないから…。</p>
議長	<p>資料のナンバー6でよろしいですか。</p> <p>(「ナンバー2」の声あり)</p>
司会委員	<p>ナンバー、えっと蔵書数ですね、ナンバー2の蔵書数ですね。</p> <p>蔵書数、はい、蔵書数を見たら山本南が一般のところ443、文学がね、9文学がNDCでいう文学が443なんですよ。</p> <p>中山やったら414、小浜やったら1,430ですか、そんなふうな感じになってごっつい少ないけれども、貸出冊数自身は山本南がごっついわけですよ、小浜や中山に比べて、それで、いわゆるあそこは面積というか少ないからね、基本にある分だけ、443置いてあるだけ、ほとんどが多分取り寄せかなんかかなというふうに思うわけですよ。</p> <p>取り寄せなんですけどね、こいつはあんまり載せてる図書館も少ないというか、ほとんどないんですけども、実は経費のところ、一番後ろの経費ね、さっき説明してもらった、いわゆる図書運搬業務委託料というものがあるわけですよ。</p> <p>それで、ここで500万ほど使ってるわけですよ。</p> <p>ほんなら、この図書運搬業務の内訳をね、いわゆる年報かなんかで載せておいた方が、こいつは守れるんちゃうかなと。</p> <p>予算が苦しなってきたときにこころへん削られるって、やっぱり動かさんとあかんのですよというふうなんで、この図書運搬業務の、まどろこしい話だけど、長なりましたけどね、いわゆる返却ポストもここ、わりと宝塚は多い。</p> <p>(「はい、そうですね」との声あり)</p> <p>この前僕、個人的にというか、和歌山に行ったんやけどね。</p> <p>和歌山、返却ポスト50箇所、まあ市域はね、和歌山市はごっついわけですよ、図書館2つしかないのにな。</p>

<p>司会 事務局（中央） 委員</p>	<p>あと、まあ公民館図書室みたいなものがあるんやけどね。 50箇所ってすごいなと思って、何が何でも返してもらおうと思ってるかも知れんけど、宝塚も言うたらこっち側の山の方はないけれども、街の方というかね、中山観音とか、そんなにポストがやっぱりあるわけですよ。 ほんで動かしているから率はええわけですよ、その500万をかけてね、この運搬業務というか。 移動図書館の運行が340万という形でね、移動図書館の方が数として出てきてるからわかるけれども、この図書運搬業務もやっぱりいるんやぞと。 まさにギリギリ絞られてきた時にね、余裕のある時というか、載せていったらどうかというふうな提案です。 はい、しょうもない話でしたけど。 提案なので…。 各ステーションの返却数みたいなを出していくという…。 取寄せ数とか、本が動いた数とか、やっといったらやっぱり要るんやぞというふうなものだと思うんです。 それがこれでは読み取られへん。 （「確かに」という声あり） 最近府域なんかでもね、私の住んでいる大阪府域なんかでも駅前、最近枚方とか泉佐野とかね、駅に受け取りのボックス、返却のボックスを作っているところが多いわけですよ。 だから、西宮でもありましたかね、ここら辺やったらね。 やっぱりそれコストがかかっているわけですよ。 機械で勝手にドア開いてどうのこうのボタン押したらね、やってる、それは取りに行くという手もやっぱりいるわけですよ。 そやけれども、宝塚は何もそんなとこないやねんと言われたときに、いや、これこんなふうなポストはやってるんやぞとで、その作らんぐらいに受けている、取れるだけの分館はある、それはあるぞというのがある、わかる方がいいんちゃうかなという。 新規でそれに載せる言うたらなかなかしんどい話かもしれないけどね。</p>
<p>事務局（中央）</p>	<p>一応ね、数字は取ってましたよね。 各サービスステーション、それから公民館とか、それからコープとか、返せるスポットはなるべくたくさん作ろうということでとってるし、それを毎日回っていますから、それで何冊回収したという数字も一応全部とって、データとしてはあるので、出そうと思ったら出せるし、おっしゃる通りこれだけ手間もお金もかかっているんだというのは分かりやすい資料だなと僕も思いました。 それでほんまにね、物流っていうんですか、やっぱり何でも物流っ</p>

委員	<p>てすごい大事な要素だなと思ってて、そのおっしゃることもなんか大事なような気がいたしました。</p>
事務局（中央）	<p>まあ、検討していただいたらと思いました。</p> <p>あんまりそんなに載せているところはないかもしれないけどね、ただ、駅前にそんなん作っているところは最近の実績としてね、こんなんやぞというのを上げているのが増えてきているという…。</p>
事務局（中央）	<p>冊数の数字では出ませんが、やっぱり山本南分室に行く箱数っていうのは、やっぱり多いですね。</p> <p>他の分室に比べたら、いつもメール便というのは、今数字は出ないですけど、本当に倍ぐらいかなっていうぐらい多く予約の本を送っています。</p>
委員	<p>やっぱり、こんなふうなこともやってるんだぞというふうなね、やっぱり載せてた方がいいんじゃないかと、すいません。</p>
事務局（中央）	<p>読み方ですいません。</p> <p>山本南分室の文学が443と非常に少ないように見られると思うんですけど、日本の小説っていうFのいわゆる皆さんがよく読む日本の方が書いた小説とかは4,751で、文学がそれ以外の海外とか日本以外の文学のものが多分すごく少ないような感じなんです。</p> <p>おそらく動かないものとかをだんだん中央図書館とかに送っていて、循環させているので、そういう特色があるのかなというふうに思っていて、場所が少ないものですから、置いておけるものがやっぱり厳選されていくので、人気のあるものを置いていると、どんどんそういう形で、最近の海外のものを読まれる方も多いんですけど、多分そこはわりと小説とかの文庫本が特に多いので、そういうものはよく借りられているので、そういうのが特に多いってことで違いがあるのかなってふうに思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>事務局の方でもご検討いただきまして、次年度よりもし可能でしたら、お手数ですけれどもそのようにしていただければいいのかなと思いますし、山本南分室については、これまでの図書館協議会でも随分いろんな意見を出してきておりますので、そういうことから、宝塚市の方で前向きに山本南分室のことを考えてもらえる1つのきっかけになればありがたいなと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（発言する者なし）</p> <p>それでしたら私からなんですけれども、この決算の表なんですけれども、これはA4、1枚に収めないといけないというような、そういう別に決まりがあるんでしょうか。</p>

事務局	<p>ですから、中央図書館と西図書館をこの1枚、A4の1枚に収めないといけないということが別になければ…。</p> <p>年報の1ページをそのまま持ってきたような感じで、年報はページ割りの関係でこう収めた方が成りがいいみたいな感じで、もちろん分量が増えてきたら2ページに分けるなり、必要だとは思いますが。</p>
議長	<p>見栄えはいいんですけど、先ほど、西図書館の建物保存の件とかもありますし、他にご説明をお聞きしてまして、細かいところですけども、例えばエレベーターの話とか出てきてましたけどもそういうのが注釈としてこの表の中に入っておりましたら、私たちも理解がしやすいかなと思いますので、その点ご検討いただいて、それからの先ほどの建物保全につきましては数字が変わりますので、次回の協議会でも結構ですので、差し替えを作っていたらどうかと思います。</p>
	<p>文字の修正程度でしたらいいんですけど数字が変わりますので、その点が気になりました。</p> <p>お手数をおかけして申し訳ございませんが、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>では、他にご意見ご質問がないようでしたら、次に議事2、令和7年度事業についてに移りたいと思います。</p>
	<p>2 令和7年度事業について</p>
議長	<p>では、事務局の方からご説明よろしく願いいたします。</p>
事務局（中央）	<p>中央図書館の令和7年度事業からご説明します。</p>
	<p>図書館予定というチラシが、配っている分から説明いたします。</p> <p>簡単にささっと行かせてもらって、この落語を実際に5月5日にしまして、普段のおはなし会とかで昔から落語をしてくださっている中川桂さんという方に来ていただきまして、実際、この生で落語を見る機会っていうのは、やはりお金を払って見ることはあると思うんですけど、図書館で無料っていうので、すごく喜ばれた会になりました。</p> <p>実演を目の前で近いところで見れるっていうので、また今度8月にも、ご好評だったので、8月にも実際、催そうと思っています。</p> <p>またもう一回来たいという方が、お声が多かったので、その予定をしております。</p>
司会	<p>落語だけじゃなくて、この方は大学で落語の歴史を講義されている教授ですので、落語の歴史についても語ってもらった上で、落語を最後にしていただくという…。</p>
事務局（中央）	<p>最近、中央図書館の方で、読書会というのをやっております、もう何回か、3か月に1回ぐらいのペースでやるんですけども、また今度は8月にも赤毛のアンをテーマにやろうと思っています。</p> <p>読書会っていうのが大体5、6人のグループに分かれて、1冊の課</p>

	<p>題本を読んできて、そこで語り合うという会なんですけれども、なかなか課題が与えられてテーマに読むっていうのが宿題みたいで、読んでみるということと、それについて自分がすごい好きな本じゃないかもしれないけど、それを読んでみてそこで語るというのが本当に面白いもので、他の方の意見とかいろんなお話が聞けるので、大変私たちが図書館の者も参加しますけれども、普段なかなかそういう機会がないので、非常に楽しいなど、また他の本も読んでみようかなということにつながる会でいいなと思っております。</p> <p>なかなか参加者がそんなには今多くはなくて、東京の方とかでは読書会とかすごく有名なところがあって、何百人も集まる会もありますので、そういうところから読書について語り合える場所があればいいなという声で続けていけたらいいなという会にもなっております。</p> <p>あと、認知症サポーターの方も引き続き今年度も2回ほどやるつもりにしております。</p> <p>子どものための、夏休みにいろいろまた企画しておりますので、まずこちらの方もまとめたものがありますので、お読みください。</p> <p>あと、現代詩講座とって、読書会とは別に詩を読んでみようという講座も第9回まで、今やっております、現代詩を、詩のことを現代詩協会の方に来ていただきまして、詩のことを深読みしていくとか、掘り下げて読んでいくという会をしております、こちらの方もなかなか普段、する機会がないときに詩について、また知らない詩とかも、また解釈を教えてもらえたりとか、その詩人の方のことを教えていただけるような場所でもあって、非常になんか、もしよければ皆さん来ていただきたいなという会です。</p> <p>これまた書いてみようとなっているんですけど、詩を書いた人が持ってこられて、そのやつをみんなでこれはああだこうだっていうようなことも加えている珍しい会ではあるんです。</p> <p>なかなかそういう場がないので、最初の頃は京都から学生が来られたりとかしてましたね。</p> <p>そういう場がないって言われて。</p>
事務局（中央）	<p>自分の詩を発表して、先生が添削していただける場でもあるんですけど、それがなかなか自分の詩を持って来ることがプレッシャーになって来れなくなった方もいて、どっちがいいのかなって思うので、できれば持って来なくても、参加できる会ではあるんですけども、そういうのがあってっていうのは思うので、両方ともできればいいかなと思っております。</p> <p>また、細川貂々さんの「生きるのへタ会」ということで、毎月、中央図書館でやっている会がありまして、それで今度トークイベントとかも企画していて、細川貂々さんはずっとこちらの方で毎月一回</p>

<p>司会</p>	<p>その会をしていただいて、その会もすごく好評で、遠くから見に来られる方とか、参加される方がいて、ずっと続けている会であります。</p> <p>「生きるのヘタ会」という、このネーミングも細川貂々さんがされて、これはネーミングがすごく素晴らしいというか、生きづらい思いをしている人らが来て、それぞれが自分の、誰もあまり知らない、誰も知ってる人がいない中で語ることによって、語るというか、自分の話をすることによって、なんだか満足かどうかわかんないけど、そこでしゃべることによって、なんか心が変わって、変わるようなことが期待してやっているような感じのことなんですね。</p> <p>なので、これもすごく遠くの方もいらっしゃいます。</p> <p>細川貂々さんはエッセー漫画を描く方なんですけど、それは生きづらさがテーマに結構なってるエッセー漫画なので、そのファンの方もいらっしゃることもありますけど、本当にいろいろのお悩みがあるような方もいらっしゃったりとか、そういうこれもなかなか珍しい会なので、図書館の研究会とかにも呼ばれて、どんなことしてって発表とかもするようなことがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません。</p>
<p>司会</p>	<p>それで悩みのある方は発表されるんですか。</p>
<p>事務局（中央）</p>	<p>発表っていうか、もう単に語る、しゃべるか語るだけです。</p> <p>自分は今こんなことを思ってますみたいなこと。</p>
<p>司会</p>	<p>貂々さんは聞くだけなので、なんかコメントはしないっていうルールみたいな感じ、みんな喋ってるのを聞く会、それがすごく大事なんです。</p>
<p>委員</p>	<p>まあ、最初にね、ちょっとだけルールみたいな説明するんですけど、その場でアドバイスはしないって言うんですけど、どうしてもみんなアドバイスしちゃうんですけど、根本的には悩んでいることを表現すること自体がすごい意味があるようなことなのかなと見てて思います。</p>
<p>委員 司会</p>	<p>思春期の子どもたちがそれに参加できたら…。</p> <p>もし参加したらすごくいいかなと思いますね。</p>
<p>委員</p>	<p>現状はそういう10代っていうよりは、ただ、ご年配の人じゃなくて、意外と30代40代ぐらいの男女も結構混じっています。</p>
<p>委員</p>	<p>詩よりそっちの悩み相談っていうか、そっちの方が発表しにくいのかなとか思いました。</p>
<p>司会</p>	<p>意外となんかね、皆さんねそうなんですよね。</p>
<p>委員</p>	<p>雰囲気…、話しやすい。</p>
<p>司会</p>	<p>すごい深刻な話をする場もあったんですが、いろいろ聞いたらあかんと思うようなことがあったんですが、そういう時から、ある時から2番目の悩みを言ってくださいみたいな言い方に変えてみたりとかして、そういうようなことも起こりました。</p>

<p>事務局（中央） 事務局（西）</p>	<p>あまりにも深刻な悩みを語られても、なんか難しいところもあるなと思います。</p> <p>中央図書館の行事は一旦これで、西図書館の…。</p> <p>西図書館の今年度、令和7年度の行事を紹介させていただきます。</p> <p>4枚後ろにある、こちらの杉山亮さんの「ものがたりライブ&講演会」というチラシの方からご説明させていただきます。</p> <p>こちらも子どもの読書活動推進計画の関連事業として、今年の5月24日に既に開催したものになります。</p> <p>午前と午後の部に分かれておりまして、午前はものがたりライブで小学生以上を対象に、ものがたりライブで手遊びですとか、いろいろなゲームみたいなものを交えて楽しんでいただきまして、第2部を大人向けで、子どもとか児童書に関わる大人向けに講演会をしていただきました。</p> <p>こちらは参加者、前半の子ども向けの方は95名、後半の大人向けの方は55名のご参加がありまして、どちらも好評でした。</p> <p>次に、「夏休みは西図書館へ行こう」というチラシを作っているんですけども、こちらは夏休みに西図書館で行っている行事をまとめてチラシにしたものになります。</p> <p>今年度初めて取り組むものとしては、真ん中の「ガチバトル!? 先生たちのビブリオバトル」というものが、ちょうど今日開催しているんですけども、ビブリオバトルは力を入れている活動ではあるんですが、なかなか認知度が低いので、学校の先生たちに、まずそのビブリオバトルを知ってもらって、実際に先生にも体験していただくということで、今新任の先生方が図書館に研修に来ていただいているんですけども、その中で先生方に実際にビブリオバトルをしていただく、それを観客の一般の方にも見ていただくという取組になります。</p> <p>その横の「市役所見学に行こう!」というものも、初めて企画したものになるんですけども、今宝塚市の庁舎のペーパークラフトを発売しているんですが、そのペーパークラフトを西図書館で組み立てるに当たって、建築家の先生の解説のもと組み立てるんですけども、その組み立てる前に、まず市役所を実際に見学しようという企画になります。</p> <p>こちらは7月30日に開催の予定です。</p> <p>次のチラシなんですが、「深津さくらさんの怪談語り」というものを10月19日に開催予定です。</p> <p>こちらは人気怪談師で作家でもある深津さくらさんによる怪談会で、今、怪談がとてもブームなので、いろんな方に図書館に来ていただくということで、深津さくらさんの怪談会を企画しております。</p> <p>西図書館の今年度の行事は、特徴的なものは以上になります。</p>
---------------------------	--

司会

今年度の話ということで、先ほどからも話によく出てますが、山本南分室のことでお話ししたいことがあるんですけども、山本南分室は東公民館にあるんですけど、今年度、東公民館が10月から半年間かけて3月の末までの予定で、空調などいろんな大規模な修繕ということで閉館するんです。

それに伴って山本南分室はできなくなるんですけども、私たち今いろいろ右往左往しながらやった結果、平井人権文化センターというのが、そこから1キロはないと思うんですけど、ところにありまして、市の施設なので、そこで少なくとも予約の本の貸し出しとか、あと子どもさんに向けた本を並べるとか、あと、もしかしたら大人の本も並べられたらな、一室を借りることに交渉の結果できまして、その間はそこですることにより今決定しております。

その先なんですけれども、その工事の間に、いろいろ工夫した結果なんですけど、たった13平米ではあるんですけども拡張することが通ることになりました。

これ言うとかないといけないの。

この図書館協議会のご意見書をいただくことが大きな力になって、それが実現することになりました。

ありがとうございます。

そうなんですということです。

なので4月以降開館したらこういった形で、たったと言ったらあかんですが、ちょっと広がるという13平米ではありますと思っております。

次が子ども読書について、最初に言おうかなと思ったんですけど、図書館の力を入れていることの一つに、子どもの読書活動の推進があります。

宝塚の図書館を中心にして、宝塚市全体で子ども読書活動推進計画っていうのをもう20年来進めてまして、第四期になっております。

それは図書館が中心になってやるんですけども、学校とか保育所、幼稚園とか、もう一つ例えば健康センターとって、1歳児健診とか、健診とかある場所で、図書館の予算でブックスタートといいまして、本を絵本なんですけど、絵本をその場で読み聞かせのように、サービスで4か月健診でするんですけど、4か月健診のところでも読み聞かせのようにするんで、赤ちゃんは意外と目で絵本を追ったり、キャッキョっていうふうになったりとか実際するんですね、みんながみんなじゃないんですけど、そういうのをお父さん、お母さんにその現場で見せて、この絵本どれか選んでくださいってプレゼントして、絵本をうちで読んでやってくださいねっていうのを伝えるっていうブックスタートっていうのをやっています。

<p>事務局（西）</p> <p>司会</p> <p>事務局（西）</p>	<p>そういう活動、そういう他の市役所のいろんな課の人に手伝っていただいて、子どもの読書活動を推進するということ、図書館はどうしても、できるだけアウトリーチ、外に向かっていきたいんですけど、なかなか受け身で来てくれる人を待ってるという状態になるんですけど、そこで私たちが期待するのは、学校とか保育所とか幼稚園とか健康センターだと本に関心のない親御さんがいらっしゃる場所で本に関心を持って、子どもにとって本が大切だということを伝える場所っていうのが、図書館じゃなくて、その外にある場所だと思っているので、それを伝えてほしいっていうのは他の課なりいろんなところで、学校の方たちに伝えていくということをやっております。</p> <p>先ほど言ってもらった中央図書館も西図書館もしてるんですけど、新任の先生の研修とかを受け入れていると、今年だったら40人も来るんです。</p> <p>その方々にも、子どもたちにそういうふうに本の環境を与えることとか、お父さん、お母さんが、本が大事だってことを、僕らがなかなかつたない言葉ですけど、伝えていくことで、少しでも子どもたちが本と親しむ環境で育ってほしいというのを続けているんですねってことが伝えたいことなんですけどで、具体的なことを何かありますか。</p> <p>お手元に子どもの読書活動推進計画の資料は配っていませんでしょうか。</p> <p>ないんですね、ないから概要版だけ配らせてもらいます。</p> <p>こういうのがあります。</p> <p>（委員に宝塚市子どもの読書活動推進計画（第4期）概要版を配付）</p> <p>また、大まかにどういうことをしているかをご説明するので、ご自宅などでじっくりご覧いただいたらいいかなと思うんですが、主な取組としましては、先ほど司会からもご紹介させていただいたように、まずブックスタートというものをしております。</p> <p>これも保護者と赤ちゃんと一緒に絵本を楽しめるふれあいの時間を持っていただくために、絵本を無料でプレゼントするという取組です。</p> <p>4か月健診の際にボランティアが赤ちゃんと保護者1組1組に対して絵本の読み聞かせを行い、赤ちゃんがどのように本を楽しんでいるか、どんなふうに絵本を読めばいいかななどを、実際に体験していただきます。</p> <p>最後に読んだ3冊の絵本の中から1冊を選んでいただいて、それをプレゼントします。</p> <p>昨年度は1,184名の赤ちゃんに配布しました。</p> <p>次に、託児サービスというものも西図書館で行っております。</p>
---------------------------------------	--

司会	<p>うので預かってもらう場所、すごい待機児童が多いらしくて、市内で6校、臨時で去年からやってるんですけど、そこに団体貸出として100冊ずつ、200冊かな、図書館からも本を貸出しをしています。</p> <p>実際今日、なかなか支援員の方が足りないということで、応援を要請されて行ける方ということで、行ってみたいと思って、朝、第一小学校に行ってきたんで、8時から。</p> <p>育成会が私も子供を預けてたんですけど、実際どんな感じかって、なかなか現場を見ることもなかったので、図書館としてもぜひ1回どんな感じが現場見たいと思ってまして、待ってるだけだとちょっとわからないので、今日実際行かせてもらって、こっちで集めた本を実際に使ってる様子を見させてもらいました。</p> <p>やっぱり子どもたちって本を箱に置いていて、なんかそれが物みたいなものになって、なかなか読まないですね。</p> <p>いや、こんな形なのかなって思っていて、もうちょっと読んでほしいので、こう絵本とか広げてみて、こう見てもらえるように読んでみたりとかしてたんですけど、遊ぶ方が楽しいと本に目がいけないし、学校が第一小学校で西図書館に近いとはいえ、皆さんが図書館に来てるわけではないようで、普段は図書読んでないなって感じの子たちも多くて、そういう時に本に興味を持たせるにはどうすればいいかなって、現場を見てすごく思ったので、それは今年ぐらいからもう取っ掛かり、図書館待ってても、なかなか来てもらえないから、学校の方に本当は行きたいと思ってて、そういう形でもいいので、少しずつ学校に行かせてもらえるようにしたいなって、今年は子ども読書の絡みでやっていこうかなって、ちょうどやり始めたところなので、そういうこともしていきたいなと思っています。</p> <p>はい、すみません。</p> <p>なんか時間もあれなんですけども、一つだけまた言いたくなって、これ、今お配りしたやつの表紙は写真あるんです。</p> <p>その裏側の上の黄色の部分に書いてあるのは、私たちがこの子ども読書活動推進計画を作るもとなった法律で、子どもの読書活動の推進に関する法律っていうのがあるんですけども、その第2条にこの法律の理念が書いてあるんですけど、そこにある言葉がなんか僕らがどうやって、本当は読書は楽しみやから楽しんで子どもたちがやったら一番いいんですけど、それを説明したりするときに、いい言葉やなと思うことが、この理念にあるなと思ってまして、「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし」、それにさらに加えて「人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」って書いてあるのを読んだ時は、そういう意味であるって感じながら、こういう読書活動を推進したらいいなとすごく思ったんですけどい</p>
----	--

<p>事務局（中央）</p>	<p>うことを、言い伝えたいなと思って言ってしまうんですけど、それで、その後にそういう「ことにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」って書いてあって、私たち社会全体で、子どもたちが、ここに自主的になっていうところがもしかしてポイントかなと思ひまして、子どもが自主的になんで、なんか違和感があるなって最初思ったんですが、これは考えてみると、子どもが「本を読みなさいね」、「本を読むのが勉強がよくできるようになるから本読みなさいね」、みたいに言われてするんじゃないなくて、楽しんで自分から手を出して、「本を読むのは楽しいわ」って思えるように社会がしていくというを目指しているということで、自主的に子供たちが本を読む、そういう意味での自主的なんやなと僕は理解して、「あ、そうなんや」と思ひましたっていうその自主的は大事なことかなと思ひ。</p> <p>大人がそういうふうになんか知らんけど、うまいこと作っていかんなあかんねんなあっていうことかなと思ひましたっていうのをちょっとここで伝えたいことなんですいません、お時間いただきました。どうしましょう。</p> <p>工事のことを軽く、短くで。</p> <p>今年度、令和7年度のこの建物の修繕とか工事に係る分について、簡単に説明したいなと、45年をね、この建物を迎えて、この何年に非常に大きな修繕工事が続いておりまして、今年も非常に大事な年でございます。</p> <p>まずですね、令和6年2月に着工した空調機器が竣工したのが、この5月30日でございます、この空調工事で開架室の一番大きな直焚吸収式といい、GHPとはまた違う式の空調システムなんですけど、これが完了しました。</p> <p>これが5,700万、ベガ・ホールと合わせると1億1,500万の大きな工事でございます、これによって今までね、ちょこちょこ修繕しては故障して止まったり、修繕を繰り返した部分の心配がかなりなくなって、しばらくは安泰が続きます。</p> <p>それから非常用発電機の更新工事もこの令和6年11月に着工したのが、この5月の19日に竣工した。</p> <p>これは万が一火災になって停電になったときに、屋内消火栓に水を送る、電気の力を送る機械で、本来は災害の時にしか役に立たない機械ですけども、万が一のことに備えるのは、絶対になくはならないものでございますので、これも無事に完了したというのは大きな部分でございます。</p> <p>それと委託料の部分、先ほど決算の分で真ん中に建築保全ってあった部分のこの令和7年版については、予算の部分でかなり大きな</p>
----------------	--

<p>事務局（西）</p>	<p>部分があって、それは委託料で、1つは給排水設備、高置水槽とか受水槽の部分、トイレも含めて大きな取り替えの設計委託、設計して次の年にだいたい工事するんですけど、その設計委託料が付いたこと。</p> <p>それで一番大きいのは雨漏り対策としての防水改修工事設計委託料これが4,185,000円と、設計委託料についてはかなり大きな金額がついておりますので、ベガ・ホールと合わせてですが、総額で634万円の予算、ただし、これがですね、今報告申し上げるのは、2回入札したんですけど、2回とも不調になりました。</p> <p>不調になったというのは受け取る業者がない。</p> <p>辞退の理由が技術者が今いないので札入れられませんって皆さんおっしゃってて、これ技術担当部署に聞くと、この案件だけじゃなくて宝塚、ひいては日本全国みんな技術者不足で不調が相次いでるらしいです。</p> <p>ここ数年というか、ここ近々のところで…。</p> <p>順調にいったら設計委託契約して、これが3月31日に完成図書ができ上がって、それをもとに令和8年の工事、その大きな工事ですから、どこかの段階で1年間の休館も含め視野に入れた工事になるはずだったんですけど、不調になってしまったことで先行きが見えない。</p> <p>金額の超過、金額不調やったら解決の道はむしろ簡単なんですけど、技術者がいないということで不調になっているので、今それが不調になったのがおとといの入札の結果でございますから、今は入札担当部署の方の部長とかも含めて、前後策を協議しているところかなと、うちはその結果を昨日聞いたところでございまして、今ここでの発表になっております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>西図書館、先ほど決算のところで、委託料でエレベーターの更新工事設計委託料として、2,046,000円を支出したとご報告させていただいたんですけども、その工事を今年度執行していこうということになってます。</p> <p>築30年を経過して老朽化している西図書館内のエレベーターの更新工事を今年度中に実施をさせていただこうということで、それにつきましては、先ほど申し上げましたように、西公民館と西図書館にそれぞれ1台ずつエレベーターがあるんですけども、まずは西図書館の方のエレベーターですね、これは1階と2階を結ぶだけのエレベーターなんですけれども、ただ、そのエレベーターについても、利用者による利用のほかに図書の運搬に際して頻繁に利用しているエレベーターですので、その間は西公民館のエレベーターを利用させていただこうかというふうに、今考えているところで、そういったことの、この後工事事業者と西公民館の指定管理者と協議を進</p>
---------------	--

議長	<p>めていく予定にしております。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>令和7年度事業についてなんですけれども、ご説明いただきまして、委員の皆さんからこの件に関しましてご質問ご意見ありましたら、どなたからでも結構ですので、よろしくお願いします。</p> <p>行事につきましては、本当にいつも感心させられるといいますか、本当に頭の下がる思いなんですけれども、通常の業務が非常に皆さんお忙しい中で、ずっと人気のイベントを続けてこられたりとか、また、次々と時代の流れに合わせた新しいイベントを考えて実施していこうとされる姿勢は本当に志の高いものだと感じますし、先ほどの学童保育のお話の中で、どういうふうにすれば子どもが絵本を手にとってくれるか、箱に入っているものを出したりとか、広げてみたりとか、そういうすごい工夫されている、努力をされているという、皆さんもそうだと思うんですけど、実感を持って伝わってきて、改めて、本当に尊いお仕事をされているなと感じました。</p>
司会 議長	<p>いや、ちょっと褒め過ぎだ。</p> <p>そうですね、これだけはやっぱりね、本離れとか、もうみんなスマホに走ってますから大人も子どもも、そういう中でね、もう本当に、それとチラシのデザインが見事ですね、いつも私感心するんです。</p>
司会 議長 事務局（西）	<p>それを言うだけでいたら、すごい嬉しい。</p> <p>今回のこの怪談語り、もうこれは…。</p> <p>これは西図書館の臨職の方がデザインとか得意な方がいらっやって…。</p>
議長	<p>そうなんです、外注されてるんじゃないかと…、素晴らしいと思います、発想が。</p>
委員	<p>山本南なんですけれども、ページには工事やるぞと上がったままで、詳細はいつぐらい決まるんですか。</p>
司会	<p>もう一度…。</p>
委員	<p>山本南、工事やるぞという話が載ってるけどもね、詳しいことが書いてね、詳しいことは一つもわからへんなってということで…。</p>
司会	<p>ごめんなさい。</p>
委員	<p>言わなかったんで、工事って拡張の工事のことですね。</p> <p>そうです。</p>
委員	<p>これいつぐらいに公表するんですか、内容の詳細は。</p>
司会	<p>東公民館が半年間閉まるので、その工事の中で、後半部分に工事を実施しようと、工事言ってるんですけど、実は工夫で、予算をほとんどかけかけない工事ではあるんです。</p> <p>それは、中央図書館が持っている新品ではあるんですけども、組</p>

	<p>立て式の本棚が前からあるものが、5、6年前のものがあるので、それを工夫して置けないかなと思ひまして…。</p>
委員	<p>いや、それもそうなんですけど、いわゆる代替はこうするぞというふうなアナウンスがね、その間のね。</p>
司会	<p>ああ、代替のアナウンスですね。</p> <p>それね、内部的なやり取りが結構複雑なことがありまして、そろそろ公開できるかなみたいところで、ここで今初めて言ったぐらいなんですよ、申し訳ないです。</p>
事務局（中央）	<p>補足させていただきます。</p> <p>平井人権文化センターという、山本駅から徒歩でいける場所の使用で、やり取りをずっとしてしまひて、本当にちゃんと決まっただけでないと、お知らせを公開しないと、今話を詰めてしまひて、詳しく言いたいですけど、ここで中途半端にやったら申し訳ないと思ひてしまひて…。</p>
司会	<p>あんな感じでできるだけ早く言わないといけなひのはわかっているんですけど、なかなかできなくなっている中で、そろそろできるかなって言うのが、正直なところですよ。</p>
議長	<p>インフォメーションは大切なことなので…。</p> <p>（「そうですね」の声あり）</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>来年度はあれですか、いわゆるインフラの関係は、その分だけですか。</p>
司会	<p>来年度…。</p>
委員	<p>いや、今年度は。</p>
司会	<p>今年度中にする事としては、はい、そうですね。</p>
委員	<p>これは部外者やし、もう知らん話なんですけどね、市民病院建て替え、あのごっつい金が転がりこんできたという、あまり聞けない話だけど、まあ府域でもなんかクラウド、この前八尾なんかやってね、クラウドはたいしたことなかったんやけど、1,000万ほど別に転がり込んできて、車買い替えたんですけどね。</p>
司会	<p>市民病院は、一番近いところは小浜の分室ですか。</p> <p>いわゆる移動図書館は行ってないんですね。</p> <p>市立病院の周辺にはないです。</p> <p>ちょっと離れたところには行っています。</p> <p>若干近いところはありますけど。</p>
委員	<p>もうブームが去ったような感じはあるんですけど、何年か前は、病院の中にいわゆる闘病記文庫っていうような話があったんですよ。</p> <p>だんだんそれも変わってきていると思うんやけどもね、民間の病院の中でも最近なんか待合室にリサイクル本を置いたりなんかして</p>

事務局（中央）	<p>ね、そんなんはよく見るわけです。</p> <p>せっかく5年後にあれするんやったら、確保できるんやったらね、割り込んでいったらどうかなというふうに思ったんですけどね。</p> <p>議員さんがそれを言われてたりもするんですけど、ただそれはどうなるかはわからないですけど、確かにそのアイデアはあるかなとは思いますが。</p>
委員	<p>政治の世界にね、あんまり踏み込んでどうかと思うんですけどね、いわゆる市立やからね、やっぱりそっちの方も目配りをしておさんと具合悪いなと思います。</p>
司会	<p>もちろん図書館でね、いわゆる専門職としてのね、上位者とかそんなこと当たり前のことでね、そんなもんね、こちらが言うのはおこがましいぐらいでね、はいそうですね。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、委員の中にも出てきましたけど、クラウドファンディングなんか、私は前から何回か申し上げているんですけどもね、なんかこうちょっと考えてみる必要もありますし、図書館が厳しいだとか、もっと図書館を活用したいというしたいという人たちの意見をもっともっと外に出すようにしたら、前の雲雀丘の方が、第二の方が出てくるかもしれないし、そんな感じがしますね。</p>
委員	<p>正攻法だけではなく、いろんなことをされたらどうかなと感じましたけれど。</p> <p>すいません。</p> <p>もうね、時間があまりなくなってきたんですけども、まだ今日は発言されてない方に一言ずつでも、どうぞそれでは先に。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、今年の行事、いろいろ聞かせていただいて嬉しいなと思ってるんですけど、各中学校区にいわゆる青少年育成会議っていうのがありますね。</p>
委員	<p>青少年育成会議も潰れるとか潰れないとかいう話を聞いているんですけども、もし続いているとすればですね、アウトリーチをかけるという意味では、そういう場面にもここにありました夏休みに図書館に行こうという、こういうのもぜひ場に出てもらって、アナウンスしてもらったらいいかなと思うんですけどね。</p>
委員	<p>多分これは小学校各小学校とか中学校に図書館へ行こうというのは言ってるわけですか。</p>
委員	<p>（「それはしてます」という声あり）</p> <p>こういうスポット型の事業についても学校には行ってる。</p>
事務局（中央）	<p>図書館だよりを必ず毎月発行して学校に送ってしまして、夏休みの行事に関しましては、全小学校には送っていますけれど、中学校には送っていません。</p>

委員	この怪談がたりのイベント、これなんか皆参加したいと思いますよね。
事務局（西）	これは各地域にまでは回ってきてないんですよね。 ここへ来られた方がこれを知ると、西図書館に、いう形なんですよ、今は。
委員	こういったイベントとかでしたら、今市が運営しているLINEでイベントの告知などもしています。 それと、あれもありますよね、広報たからづか…。 （「そうですね」の声あり） 素晴らしいこれがあるから、きちっと掲示したいなと思いますよね。
議長 司会	はい、広報が大切だということですよ。 できるだけ努めたいと思います。 経費面とかいろいろなことも考えるところもあるんですけども。
議長	3 意見交換等 すみません。
委員	そしたら、まだご発言いただいております委員の方から何か一言でも結構ですのでお願いします。 失礼します。
委員	私、このメンバーにおりながら、本の素晴らしさをここに書かれているように、生徒の、子どもたちの感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにすると、まさにそうだなと思っておりながら、学校は意外に矛盾したことをやってまして、生徒全員にタブレットを買わせて動画で教えたりとか、先生方もパワーポイントで授業を作って、それを見せて、黒板に映してというなことをやっています。 だから、どっちがほんまやねんっていう、そのせめぎ合いのところですよ。
委員	文科省はICTを推進してます。 それはそれでやらないといけないし、でも本の大切さっていうのは私も十分理解していて、本当に困ったなというふうに…、ここで皆さん、熱く本の大切さを語られているのに、学校は全然違う方向を向いているような気がしまして…。
司会	いや、いろんな意味のDXは、図書館にもとかいうのももちろんあるんですけど。 なので、電子書籍をどういうふうに活用するかというのも、もちろん言われている中で、うちの図書館はそこをあんまり進んでおらないです。
委員	いや、うちの学校の図書館も生徒の利用は本を借りるというよりも、自習とか勉強する場として、今夏休みの図書館だけでは十分に数

<p>司会</p>	<p>が足らなくて、別の会議室も開放して冷房をきかせて、一日、ずっとそこで学校に来て勉強するっていう、そういう場になっておりまして、なかなか本を読むというような場には今になってないという現状で…。</p> <p>現実もちろん知ってますね。</p> <p>ただ理想を捨てないというか、そんな中でもどっかでいろんなこととの出会いがあって、本好きになるし、子供たちもいるんやろうなあって思いながら、やっているところもありますし、今の市長も言われてたような気がする、忘れましたが…。</p> <p>なんか北欧の方では、デジタル化がすごい進んで、だけど学力がそれで落ちたようになったので、教科書はやっぱ本の方に戻すとかいうような話があったりしてて、そんな話も日本の中でも流れがあるのかもしれないなと思ったりとか、それは個人的な思いかもしれないけど、タブレットとかで見るのと本で見るとは違うっていうのを皆さん方もどう思われるかわからないんですけど、あるのかなと思ったりするんですけど、ただ、タブレットで読む本っていうのも、もちろんだんだん増えてきているということもあるので、タブレットで読む本が本じゃないかという、そんなこともないとは思ったりも、皆さん、しますよね。</p> <p>電子図書館という名前と呼ばれるんですけど、なかなか導入されているところでも、需要は実際にはなかなか進まないという悩みがあったりすることとかも、現実にはあるんですね。</p>
<p>議長 委員</p>	<p>それには著作権の問題とかがあって、人気の本は電子化され、図書館で許される電子化をされていなかったりとか、いろんなことが、長くなるので、あんまり…、そういうことがいろいろあります。</p> <p>現場の貴重な情報をありがとうございます。</p> <p>そしたら委員、お願いします。</p> <p>はい、話の機会をいただいてありがとうございます。</p> <p>私の子どもが参加したものに関して、子どもを本好きにさせることができたなって思ったのは、今2人子どもがいるんですけども、2年ぐらい前に西図書館でされていた福袋、何も書いてないんですけど、3、4冊ぐらい入った袋が置いてあって、なんでもいいよって言って取っているのがすごく楽しそうで、それが子どもにとって、本って面白いなみたいなのが、入れれたかなって思うのと、おっしゃっていた4か月健診の1冊プレゼントっていうのは、すごくありがたい、上の子どもの時は、確かそういう個人個人でっていうのはなかったと思うんですけど、今7歳なんですけど、その下の子が今2歳なんですけど、その個人個人でっていうのをやっていただいて、この子にはこれが合ってるよみたいなものを言っていただいていたので、こんなが好きなのかもねみたいなものを言っていただいて、その本が</p>

司会	<p>実際すごく好きで、今でもよく読みますし、自分でこう「ぴよん」なんですけど、本当にちっちゃい子が好きそうなやつなんですけど、自分でもぴよ〜んなんてやってるんで、本がというか、そういう大人がこう話せないというか、本で吸収することもたくさんあるのかなって思ってまして、いろんなことをされていて、図書館の方がそうやってされているのがすごくありがたいなと思ってました。</p> <p>あと、委員がおっしゃってた病院についていうのはすごく思いまして、うちの子もなんですけど、上の子もアレルギーの検査をしまして、2週間ほど病院で入院していたことがあったんですけど、その時すごく、手持ち無沙汰になって、W i F i とかも全然通じてなかったんで、携帯もそんなに触れないし、音の出るものも病室では触れないということで、何かできることあるかなって言って、絵描いてたりとかはしてたんですけど、なんかそういう待合室なり、待合室だと大人の方とかも来られると思うので、お部屋とか借りて、子供が来れるような場所とか作ってもいいのかなと思いました。</p> <p>そうですね。</p> <p>新しいのができるときはね、チャンスですのでね、それでもあったらいいかと思います。</p>
議長	<p>今のところでも可能性があったら、どんな状況で、病院側の体制というのはどんなかわからないので、そもそもわからないので、まずそれを知るところからかなと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局（中央）	<p>福袋は本当に司書の方々がね、本を選んで、一生懸命熱い思いで作られてる…。</p> <p>なんかね、売れる本と売れない本があって、こう残ってる寂しい、自分が選んだやつが残っていると寂しいみたいな、いろいろみんなで作ってるので、そういうのはやっぱりありません。</p>
議長	<p>嬉しいですよ、そういうお子さんの感想を聞かせていただいて。1人何個作る事とか、ノルマとかで作って、それ以上に作る人もいます。</p>
司会	<p>でも、それでいろいろ本のことを考え直すこともあるし、作るのがすごくいいかなと思いますね。</p>
事務局（中央）	<p>中見て、これとこれがいいかなとか、いろいろ考えてやります。</p>
司会	<p>すごい知ることにもなっています。</p>
議長	<p>先に質問とかなさいますか。</p>
委員	<p>何かありましたら。</p> <p>あとすみません、戻るんですけど、こちらの資料の3番に書いてある視聴覚室の、3ページの(5)なんですけど、聴覚室のこのビデオテープとかは利用があるんでしょうか、ビデオテープってビデオデッキがなきゃ…。</p>

事務局（中央）	<p>ビデオテープですね。</p> <p>実際はほぼ無いと、ビデオデッキの機械はまだ動いていますが、だいたいDVDの利用ではないかと聞いていますけど、調べておきます。</p>
委員	<p>これは新しい記録の物に替えてもいいのではないのかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
事務局（中央）	<p>おっしゃる通りです。</p> <p>頑張っていきたいと思います。</p>
司会 議長	<p>ちゃんと把握してやりたいなと思います。</p> <p>皆さんいろいろとご意見をいただきまして、ありがとうございます。</p>
議長 司会	<p>4 その他</p> <p>では、次回の開催について、事務局の案をお願いいたします。すみません。</p>
	<p>次回というか、毎回2回目っていうのは図書館施設の見学なりをしていただいてまして、近年ではいろんな分室とかを見ていただいたりして、その中で、先ほどのご意見をいただくようなこともあったりということで、いろいろ成果が出たりしていたんですけど、今年度は事務局案としましては、何回もビブリオバトルのお話をここで出てきて、言葉はたくさん出てきたんですけど、一度ね、ビブリオバトルを子どもたちがしているのを実際に見ていただくのはどうかなと思っておりまして、ただ、これが「ことばの祭典」といいまして、市の学校教育課と図書館が共同してやるそのお祭りごととなっているビブリオの中の前半後半に分かれて、後半部分がビブリオバトル、図書館がやってるんですけども、それが毎年やってまして、小中学生と高校生までも参加していただくことがあるんですけど、それが日は決まってるんですけど、11月の22日なんですけど、それが土曜日なんです。</p> <p>それで土曜日でよろしかったら、その11月22日の2時からの約1時間半から2時間程度がそのイベントになるんですけども、そのイベントを見ていただいて、ビブリオバトルを見ていただいて、後でその新鮮なうちに感想なりご意見なりを短い時間ですけど、いただけたらなあみたいな案で思ってるんですけど、どうでしょうか。</p> <p>もしご都合が悪い方がありましたらもちろん欠席いただくことも全然大丈夫だと思うんですけど、できたら参加していただければありがたいなと思っております。</p>
議長 司会 議長	<p>そのイベントそのものが2時間かかるわけですね。</p> <p>はい、2時間フルにかかるかな、参加人数によって結構…。</p> <p>今日もなんですけど、一応協議会の時間というのも決まってい</p>

司会	<p>て、それを既にもう超過してますので、22日の件も異存はないですけど、ただ、その時間が枠の中に収まるように、そのイベントの後に意見交換をするのも、速やかにその意見交換する場所に移動ができるのかとか、その辺が気になるんです。</p> <p>皆さん貴重な時間を使ってお越しいただいてますので。</p> <p>そのように準備させていただきます。</p> <p>場所といたしましては、西公民館と図書館の複合施設、小林駅の前にあるんですけど、その公民館、大きさの意味で公民館のホールでするんですね。</p>
議長	<p>2階ですね、来ていただいた方もあると思いますが。</p> <p>そこでして、そこから速やかに、西図書館の集会室というところに移っていただけたら、そこで話していただけるかなと思っています。</p>
議長	<p>そうですね。</p> <p>協議会としてするのであれば、ただ見学をするというだけではなくて、その後に意見交換が必要だと思いますので、2時間過ぎるかもしれませんがそれでも、その辺ご了承くださいたいです。</p>
司会	<p>そういうときながら融通が利かないものもあるので、イベントごとでこうこうになってしまうのですいません。</p>
議長	<p>お許しをいただいて…。</p> <p>他に特にないようでしたら、次回の11月22日の件につきましては、日程が近づいたらご連絡いただけるということで。</p>
司会	<p>今言いました日時で変わりはないんですけども、改めてまたお伝えすると思いますので。</p>
議長	<p>もう一度言うておきます、11月22日土曜日14時から約2時間という予定です。</p>
司会	<p>わかりました。</p> <p>では、本日も長時間ありがとうございました。</p> <p>これからもよろしく願いいたします。</p> <p>図書館としましてもありがとうございました。</p> <p>よろしく願いします。</p>